

単元名 音楽ランド(2)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 曲想や歌詞を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習に取り組もうとする。

標準的な展開例

02070210_001

【教材名】 みんなで九九（歌唱）（P. 60～P. 61） アンダルコの歌（歌唱 器楽）（P. 64～P. 65） おまつりワッショイ（歌唱）（P. 64～P. 65） 音楽のおくりもの（歌唱 器楽）（P. 67）

【準備等】 範唱CD、鍵盤ハーモニカ、鉄琴、木琴、タンブリン、鈴、カスタネット など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～5 拍やリズムにのって歌ったり楽器を演奏したりする。</p> <p>○ 様子を思い浮かべながら「アンダルコの歌」を歌ったり楽器で演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴唱法で歌う。 ・ 階名唱をする。 ・ 連指唱をする。 ・ 鍵盤ハーモニカで演奏する。 ・ 鉄琴パート、木琴パートを階名唱する。 ・ 鉄琴パート、木琴パートを演奏する。 ・ 歌と鍵盤ハーモニカ、鉄琴、木琴で合唱奏する。 <p>○ リズムにのって「おまつりワッショイ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聴唱法で歌う。 ・ リズムにのって体をゆらしながら歌う。 ・ 「ソーレー」や「ドンドコ」の言葉のリズムを変えて歌う。 ・ 「ワッショイ」のポーズを考える。 <p>○ リズムにのって「音楽のおくりもの」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返しに気を付けて範唱を聴き、聴唱法で歌う。 ・ リズムにのって体を揺らしながら歌う。 <p>○ 手拍子や打楽器でリズム伴奏を付けながら「音楽のおくりもの」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム伴奏を手拍子で打つ。 ・ リズム伴奏を打楽器で打つ。 ・ 手拍子や打楽器でリズム伴奏をつけながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬の景色を思い浮かべながら優しい気持ちで歌わせる。 ・ 「クルクルリン」や「ラルル」は回ったり、体を揺らしたりしながら歌詞に合った表現を工夫させるとよい。 ・ 4小節のフレーズで区切り、繰り返し歌わせる。 ・ フレーズの似ているところと違うところを意識させる。 ・ 同じ音が続くので、音符の長さや休符に気を付けさせる。 ・ さまざまなパターンで合唱奏させ、歌ったり演奏したりする楽しさを味わわせる。 <p>（例）・ 歌＋鍵盤ハーモニカ＋鉄琴＋木琴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （全員で）歌→鍵盤ハーモニカ＋鉄琴＋木琴 ・ 鍵盤ハーモニカ＋鉄琴＋木琴→（全員で）歌 <p>【評】 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の表す情景や気持ちとを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて明るい声で歌わせる。 ・ 「おまつりの音楽」を想起させ、太鼓をたたく身振りを入れさせてもよい。 <p>【共通事項】 リズム</p> <p>【評】 旋律や伴奏を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想に合った表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スウィングするリズムを感じ取って聴かせる <p>範唱を指でなぞりながら聴かせ、繰り返すところを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「イ」から曲の雰囲気が変わることをに気付かせる。 ・ 範唱に合わせて明るい声で歌わせる。 ・ 「風になる」「花になる」「喜びがある」「幸せがある」など、似ている歌詞に気を付けて歌わせる。 <p>【共通事項】 リズム 音色</p> <p>【評】 自分の歌声及び発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて手拍子を繰り返し打たせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タンブリン、鈴、カスタネットなどの小物打楽器を人数分用意し、児童に選ばせるとよい。 ・ 「イ」の部分の歌とリズム伴奏で合わせる。 ・ 「エ」の後の間奏の部分にリズム伴奏を入れてもよい。 <p>【評】 曲想や歌詞を生かした表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

- 範唱CDを聴いて「みんなで九九」を歌う。
- ★ はくや リズムを かんじて ひょうげんしょう
 - ・ 聴唱法で歌う。
 - ・ 段ごとに担当を決めて歌う。

- ・ さまざまなパターンで取り組ませることで、繰り返し歌わせ、曲に親しませる。
(例) ・ 列ごとに担当する段を決める。
 - ・ 好きな段を担当する。
 - ・ グループで取り組む。 など

【 備 考 】